

# 第4回 滋賀大学 データサイエンスキャンパスフォーラム

## ~MBAN: データを駆使した経営のプロフェッショナル養成~

今春、滋賀大学大学院経済学研究科において日本初となる経営分析学専攻が開設された。データサイエンスと経営・経営の融合による次世代の人材育成の取り組み事例のほか、企業からの大学院派遣の有用性について紹介するフォーラムが、6月に大阪市内で開催された。

### Master of Business Analytics

【挨拶・講演】 竹村 彰通 滋賀大学長



#### リスクリテラシーで二刀流人材の育成を

MBAN (Master of Business Analytics = 経営分析学修士) は、MBA (Master of Business Administration = 経営学修士) とは異なり、データ分析を主眼とするデータサイエンスに経営・経営の専門知識を組み合わせた学位です。アメリカでは先行していますが、今年4月に開設した本学大学院経済学研究科の経営分析学専攻は日本初となるものです。11名の院生でスタートし、うち9名は企業からの派遣者です。企業側の関心が高いと同時に、社会人のリスクリテラシーの広まりを反映したものと見られます。

MBANは文部科学省主導の令和4年度「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業-Xプログラム」に採択された滋賀大学の事業「データサイエンス×経済・教育(DS×E2)高度専門人材養成プログラム」の一環であり、同時に教育学研究科においても教育データサイエンス人材を育成するプログラムを進めています。文系と理系双方の学識を組み合わせた、いわば二刀流の人材育成を目指すのです。

膨大な量の集積が加速するデータは「21世紀の石油」とされ、データを根拠として分析し「見える化」することが欠かせなくなっています。米グーグルなどは物をつくるだけでなくデータ分析で勝負し、世界的な大企業に成長しました。これまで日本の経営で頼りかたを見てきた「背中を見て覚えろ」といったKKD(勘・経験・度胸)の風潮はもはや通用せず、日本は世界の潮流に大きく後れを取っている状況です。AI技術が進展し高次元データサイエンス系科目が設定されるいま、大学でデータ分析を学ぶことは不可欠です。さらには経営者だけでなく一般社会人にもリスクリテラシーが求められていると見ていいでしょう。平均寿命が延びて「人生100年時代」になると同時に、技術面も環境面で変化が激しく

なる中でリスクリテラシーの重要性が高まれば、大学の役割も変化せざるを得ません。社会人になってからの学びを充実させるには、興味のある単体領域に絞って学ぶマイクロクレデンシャルも一つの方向です。また、熟考を積み上げてじっくりと論文を執筆する場が提供できるのも大学の強みとするところです。

顕在化してきた日本の弱点の一つに、早ければ高校1年で文系理系が分けられている学校制度が挙げられます。大学の縦割り構造もしかりです。企業の経営層には文系が、研究や開発の現場には理系が多くなっているのが一般的で、文理でキャリアが分かれる構造になっていました。今後本格的にDXを導入するようになると、課題は文理双方に絡むことは必然で、文理融合能力がより求められるでしょう。文系人材がデータ分析もできるようになることが有効だと考えます。さらにいえば、日本の文系大学院の改革が求められています。そもそも文系修士号の価値が認められにくく、就職も有利になりにくいため大学院に進学する文系学生が増えないという、望ましくない均衡点から抜け出せていない現状があります。日本企業は大学での勉学に期待せず、修士はアメリカで取らせる風潮が多く見られます。日本人自身が文系修士号に対する低評価がある中、なぜか中国人は留学生が多く高評価を受けているのが現状です。

以上の日本の現状を踏まえ、文系修士における均衡を破っていくためには、理系要素を導入していく必要があります。そこで滋賀大学では、実践に役立つ魅力的なプログラムを多数用意し、派遣社会人を確保することを解決法の一つとしました。今回開設したMBANは有望な分野であると自負しております。日本初のMBANを成功に導けば他大学の追随も予想され、全国的なモデルとなります。2017年に日本で最初にデータサイエンス学部を創設した本学の成功体験を生かし、MBANも同様に育てていきたいと考えています。

【MBAN概要説明】 中野 桂 滋賀大学教授 経営分析学専攻長



ケーススタディーに重きを置くMBAと異なり、経済・経営の知識にデータ活用を加えたMBANでは、ビジネスサイエンス人材の育成を目指しています。経済産業省が策定した現代ビジネスパーソンが身に付けるべきDXスキル標準の中でいうと、課題を抽出し関係者間と協働しながら目的までのプロセス構築ができる「ビジネスアーキテクト」、ビジネス・顧客視点で製品やサービス開発を担う「サービスデザイナー」、そして戦略的なデータ分析を担う「データビジネスストラテジスト」となります。社会情勢や顧客価値が激変する中、常識にとらわれず適応力に優れたマインドスタンスも重視し、経済学研究科とデータサイエンス研究科との連携を強化しています。後者からは、科目提供だけでなく教員が副指導にあたる体制を組み、二刀流人材の育成に努めています。修士論文を通じて、企業からの派遣者は実際の企業課題の解決を図れば理想と見られます。

米グラスダアの人気職業ランキングによると、アメリカではビジネスアーキテクトに相当する職種の人気が急上昇し、データサイエンティストも依然注目度が高いことが分かります。本学プログラムづくりで参考にしたマサチューセッツ工科大学における2022年のMBAN人材の主な就職先は、テクノロジーやコンサルティング、ファイナンス系で、初任給は平均で約13万ドルと、日本とは相当な格差があります。実際に日本国内で企業に在籍するデータサイエンティストを調査すると、さまざまな提案をしても理解が得られないとの声が聞かれる一方で、経営側からは何をさせていいのかわからないとの意見も出ているのが実情です。

これからの社会に求められるのは、DXスキルを理解し新たな価値を創造する「DX化時代の次世代経営者」です。MBANで学んだビジネス・サイエンティストがデータサイエンティストとも協働しながら各方面で活躍することを願っています。



#### プログラム

- 挨拶・講演 滋賀大学長 竹村 彰通
- 来賓挨拶 文部科学省 高等教育局 専門教育課 専門官 今川 新悟氏 経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 地域連携推進課長 黒木 啓良氏 住友生命保険相互会社 取締役会長 代表執行役 橋本 雅博氏 関西経済連合会 副会長 西日本電信電話株式会社 相談役 小林 充佳氏
- MBAN概要説明 滋賀大学教授 中野 桂
- MBAN講義紹介
  - ①「データ分析実践演習」「ビジネス・データマイニング特講」 滋賀大学教授 喜田 昌樹
  - ②「データ分析実践演習」「経営分析学特講」 滋賀大学 准教授 後藤 良介
  - ③「ビジュアルアナリティクス特講」 滋賀大学 非常勤講師 / ミイダス株式会社 HRサイエンス研究所 所長 神長 伸幸
- 企業人材育成プログラム事例紹介 株式会社関西みらい銀行 人財サービス部 人財育成室 マネージャー 石生 恭一氏 滋賀大学 教授 中野 桂
- 産業界×滋賀大学「未来創生人材育成」紹介 滋賀大学 理事・副学長 小倉 明浩
- パネルディスカッション 「ビジネス・サイエンティスト育成の最前線」 株式会社滋賀銀行 人事部 人材開発グループ課長 植田 義憲氏 派遣院生 / 近鉄グループホールディングス株式会社 溝口 雄斗氏 派遣院生 / 株式会社京都銀行 積 克敏氏 滋賀大学 特任教授 / 慶應義塾大学 名誉教授 岡本 大輔 滋賀大学 教授 陳 韻如
- 挨拶 滋賀大学 理事・副学長 渡部 雅之
- 交流会

### 【パネルディスカッション】「ビジネス・サイエンティスト育成の最前線」

パネリスト: 植田 義憲氏 株式会社滋賀銀行 人事部 人材開発グループ課長 溝口 雄斗氏 派遣院生 / 近鉄グループホールディングス株式会社 積 克敏氏 派遣院生 / 株式会社京都銀行 岡本 大輔 滋賀大学 特任教授 / 慶應義塾大学 名誉教授 陳 韻如 滋賀大学 教授 モデレーター: 岡本 哲弥 滋賀大学教授 経済学研究科長

岡本哲弥 まずはMBANの活動状況や授業内容についてご紹介をお願いします。

陳 日本初のMBANの認知度を上げるため、企業訪問のほか若者向けビジネスメディアでの紹介、オンライン講座の提供などを通じて広報活動を進めており、本日のフォーラムもその一環です。私の担当授業はイノベーション論特講です。「イノベーションのジレンマ」などクラシックな理論に加えオープンイノベーションや「両利きの経営」などの新しい論点も網羅しながら、競争戦略へのインパクトを探ります。最近では注視ポイントも変化しているので、イノベーション論にもイノベーションを起こしたいところだ。

岡本大輔 私は長く関東の大学に在籍していましたが、三方よしの近江商人を研究する経済学部附属史料館を擁する滋賀大学には魅力を感じています。MBANは、私の研究分野である企業評価論における、社会性などの基準「WHAT」、AIも含めた手法「HOW」の双方を備えている点で通じるところがあります。担当する授業はビジネスエシックスの一部と経営管理特講です。前者ではCSRの理論解説の中で社会性を考え、後者では自身で電卓をたたいてデータ処理の基礎を経験してもらいます。データ分析をブラックボックスのままにしないことが経営判断に生きてくるためです。

岡本哲弥 企業現場で活躍されるお二人の派遣院生に、データサイエンス(以下DS)と経営学両研究科科目について現状感じていることを伺います。

溝口 数学の予備知識を前提としており、DS科目は必死でつ

いていく状況ですが、内容は大変面白く、これまで曖昧だったAIの中身の理解が深まっています。経済学科目は、実践に重きを置いている印象が強く、Pythonなどを一から学ぶというより、ツールや生成AIを取り入れて作業の省力化を図りながらデータ活用を実現していく方針で、現実的な手法が学べる点が画期的だと考えています。

積 理解が深まれば分析結果への適切な評価も可能で、その能力は職場でも生きるでしょう。データ分析系科目では、Pythonを使用してデータを可視化することで実務に結び付きやすくなり、経済学科目では、留学生とのグループワークで日々発見や刺激を受けています。

#### 課題とらえるビジネス力を

岡本哲弥 企業におけるデータ活用、DS実装の現状について教えてください。

植田 当行が持つ豊富なデータを基に、DXやDSの最新知識を企業戦略に反映していくための準備段階です。部署横断的分析基盤を構築した上で、生成AIも積極的に取り入れて業務の棚卸しや可視化を進め、生産性向上・効率化、価値向上を実現していくプロジェクトを展開しています。まずは業務変革をテーマに取り組んでいます。

積 当行でもデータドリブン推進室を新設し、全社的に情報の利活用の強化を目指していますが、営業現場で便利と認識してもらうまでは丁寧な説明活動も欠かせません。データ活用は課題解決の手段です。MBANの学びを通して、デジタルスキルをバラ

すよく身に付けたいと考えます。

溝口 当社でもデータ活用は重要な位置づけにあり力を入れています。しかし業務部門がデータ分析の結果を使ってビジネスサイクルを回し、収益にまでつなげるのは非常に難しく、それを主導できる経営とDSの二刀流人材は必須だと感じています。適切な課題設定ができるビジネス力が特に重要で、難易度も高いと感じていますが、データサイエンス・データエンジニアリングいずれも人材不足感も否めません。

植田 当行が追求する地域課題解決には、信頼関係も大事です。よりの確な情報が得られ課題の設定も可能になるため、そこに地域金融機関がビジネス力を発揮して深く関与する余地があると考えています。

#### 多彩な人材でイノベーションに期待

岡本哲弥 二刀流つまりダブルメジャー人材を目指すMBANの有用性、また期待することは何でしょうか。

岡本大輔 私の言葉では、「WHAT」が経営学、「HOW」がDSで、正しい判断には双方の関連付けが必要です。学部学生と異なり、現場で課題に直面する社会人は、何をのために学ぶかの問題意識が高く、そういう点でもMBANは近年注目されるリスクリテラシーに最適ですね。

陳 経済学者のシミュレーションは、イノベーションを新結合、つまり新しいコンビネーションと捉えました。イノベーションの本質

は知識の蓄積であり、多彩な人材が集うMBANは、まさにイノベーションの「場」として期待できると同時に、ダブルメジャーも企業が直面するDX推進に大きな力となるのではないのでしょうか。

植田 データサイエンス研究科への既派遣者2名が帰任後、4月発足のデータドリブンチームに所属し、組織横断的なデータ活用基盤構築など大きな成果を上げています。「三方よし」で地域貢献を目指す当行にとって、経営に不可欠な課題設定スキルを持ち、かつチームビルディング力とコミュニケーション能力を兼ね備えた人材育成にMBANは最適と考え、実際の派遣に至っています。

積 ささまざまな分析手法やデータ可視化の方法を学び、これまでは解けなかった課題がいまなら解けそうで、MBANで学ぶ意義は非常に大きいと感じます。経営への高い視座を失わず、同時に目の前の課題を解決する能力も体得し、グループ全体にデータ活用文化を浸透させられる人材になりたいと考えています。

溝口 MBANで学んだ知識は実務でも有用です。データサイエンティストの実務を作業レベルで体験しているため、これはリーダーポジションにおいても的確な指示を行う際に役立ちます。DSと経営両方の専門家として会社に戻り、身に付けたスキルを使いこなして、今後の業務に貢献できればと思っています。

岡本哲弥 ありがとうございます。

主催/滋賀大学 京都新聞 後援/内閣府 デジタル庁 総務省 文部科学省 経済産業省 関西経済連合会 大阪商工会議所 神戸商工会議所 京都商工会議所 彦根商工会議所 関西生産性本部 特別協賛/統計数理研究所 近江データサイエンスイニシアティブ 協賛/あいおいニッセイ同和損害保険 アイセロ イシダ 市川基商事 伊藤忠テクノソリューションズ エイチ・ツー・オー リテイリング 江崎グリコ SMBC信託銀行 NXワンビシアークイブズ オムロンソーシャルソリューションズ キントー クレオ サカタインクス 佐藤工業 SUMCO シーエーシー SCREENセミコンダクターソリューションズ SOMPOリスクマネジメント 田辺三菱製薬 帝国データバンク ディナレッジ Terakoya.AI TOAI 東洋システム 日東電工 日本ソフト開発 パナソニック オートモーティブシステムズ PKUTECH 日立建機ティエラ 日立造船 日野自動車 日吉 平和堂 三井住友フィナンシャルグループ mitei ミラカン メタルワン (50音順)

企画・制作=京都新聞COM

# 令和7年度入試情報 滋賀大学大学院経済学研究科 学生募集

募集人員	専攻名			募集人員	選抜方法・出願期間等		出願期間	試験日程
	経済学専攻	経営学専攻	経営分析学専攻		選抜方法	試験科目		
一般入試	13名	13名	6名※2	一般入試	筆記試験2科目※2、口述試験	夏季 令和6年8月22日(木) ~8月28日(水)16時	夏季 令和6年9月12日(木)	
推薦入試				口述試験				
社会人入試※1 (一般・熟年・派遣)				社会人入試(一般社会人)※1	筆記試験1科目、口述試験	冬季 令和6年12月16日(月) ~12月20日(金)16時	冬季 令和7年1月25日(土)	
外国人留学生入試				社会人入試(熟年社会人)	小論文(出願時に提出)、口述試験			
				社会人入試(派遣社会人)※1	口述試験			
				外国人留学生入試	筆記試験1科目、口述試験			

●募集人員は、夏季募集と冬季募集の合計数です。※1.経済学専攻及び経営学専攻の社会人入試(一般・派遣)にてビジネス・データサイエンス専攻プログラム受講者を6名程度募集します。※2.社会人入試(熟年社会人)においては「経営分析学専攻」を志望することはできません。●筆記試験の科目・出願手続などは、各選抜方法により異なるので、受験する選抜方法の事項を確認してください。※1.社会人入試(一般・派遣)のうち、ビジネス・データサイエンス専攻プログラムについても上記出願期間内に希望してください。なお、経営分析学専攻はビジネス・データサイエンス専攻プログラムを希望できません。※2.経営分析学専攻において、筆記試験2科目の内1科目については、統計検定の結果を換算して利用します。

募集要項等  
資料請求は  
こちらから

**滋賀大学**  
〒522-8522  
滋賀県彦根市馬場1丁目1-1  
(入試課) 0749-27-1023  
(平日9時~17時)

滋賀大学 経済学部  
HP TOP